

No	3	分類	3-(1)-イ	資料名	お父さんカッコいいやん	学年	5年	領域	道徳	4-(4)
----	---	----	---------	-----	-------------	----	----	----	----	-------

1 ねらい

- 誇りをもって働いている人の生き方を通して、どの仕事に対してもその意義を理解し、自分の能力を生かして自己実現を図ろうとする意欲を高める。

2 趣旨

- 私たちの日々の暮らしが、さまざまな職業によって支えられ成り立っていることを理解し、それぞれの仕事についてのやりがいや働くことの価値を理解させる。
- 自分の好きなことや能力をいかし、やりがいを感じることが出来る職業を選択し、自分らしい生き方を追求していこうとする意識をもたせる。

3 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 父の仕事に対する「ぼく」の気持ちを考える。</p> <p style="text-align: center;">「ぼく」は、どうしてうつむいたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・父の仕事がかっこいいと思えなかった。 ・「いつもと同じ仕事着やんか。」と光男に言われた。 ・背広がいいと思っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・光男の言葉に、ばかにされたみたいでいやだったぼくの気持ちを理解させる。 ・ぼく自身も父の仕事着姿に抵抗があったことを認識させる。
<p>2 自分の仕事に対する父の思いについて考える。</p> <p style="text-align: center;">光男くんが「お父さんカッコいいやん。」と言ったのはどうしてでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話を聞き仕事着姿がかっこいいと思った。 ・社会の役に立っているという誇りをもっている。 ・震災の時、休みなしで働いていた。 ・県外からの仲間の応援がたくさんあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・父の仕事に対する思いに気づかせる。 ・仕事着で来た父の「自分の仕事」への誇りや責任感、堂々と話す姿が、光男の言葉となったことを理解させる。
<p>3 「ぼく」の気持ちの変化について考える。</p> <p style="text-align: center;">お父さんが大きく見えた時の「ぼく」の気持ちを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくの見方はまちがっていた。 ・お父さんはがんばっていたんだ。 ・お父さんを自慢に思う。 ・自分の仕事に誇りをもっているんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族が、一番の理解者であることを認識させる。
<p>4 自分の将来の職業について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 何のために仕事に就くのかを考え、意見を出し合う。 ・収入を得て、家族を支えるため。 ・人を助けたり、喜ばせたりするため。 ・自分が楽しく生き生きとくらすため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事は、家族や世の中の人々の生活を支える大切なものであり、あらゆる職業が世の中の人々の生活のために必要であることを認識させる。 ・自分の能力や価値観を大切にしながら職業を選択し、社会に貢献しながら自分らしい生き方を追求しようとする意欲を高める。